

# 4月定例市長記者会見

# 福山道路全線と神辺水呑線の新規事業化について

## 国道2号の現状

- 国道2号では、福山市内に市内外からの交通が集中し、**朝夕のピーク時を中心とした渋滞**が発生。
- 東西から道路整備が進み、福山市中心部が**ミッシングリンク**となりつつある。
- 抜本的な渋滞解消に向け、期成同盟会を発足して、国への提言活動等を実施。

国道2号バイパスの整備状況



※事業進捗率: 令和6年度末現在

# 福山道路全線と神辺水呑線の新規事業化について

## これまでの期成同盟会による提言活動等

○2016年度(平成28年度)  
福山道路の整備促進を目的  
とした期成同盟会を発足。

○**2026年度(令和8年度)**  
**福山道路の未事業化区間と**  
**神辺水呑線の一体的な新規**  
**事業化**に向け、期成同盟会  
の体制を拡大し、総決起大会  
を開催しながら、提言活動を  
重ねてきた。

年度	期成同盟会	国・県への 提言活動	総決起 大会
2016 (平成28)	「福山道路整備促進期成同盟会」 (福山市の行政・議会・経済界) <b>発足</b>	—	—
2020 (令和2)	福山道路の未事業化区間の新規事業化を提言項目に追加	2回	—
2021 (令和3)	「一般国道2号福山道路整備促進期成同盟会」 (沿線4市の行政・議会・経済界) <b>体制拡大</b>	1回	—
2022 (令和4)	—	3回	—
2023 (令和5)	神辺水呑線の新規事業化を提言項目に追加	5回	—
2024 (令和6)	「一般国道2号福山道路・ 神辺水呑線整備促進期成同盟会」 (備後圏域7市2町の行政・議会・経済界) <b>新体制発足</b>	5回	1回 (@福山)
2025 (令和7)	—	8回	1回 (@東京)

# 福山道路全線と神辺水呑線の新規事業化について

## 新規事業化の概要

### ○ 福山道路(笠岡西～長和)

#### 国事業

延長：13.2km

事業費：約3,030億円

→2026年度(令和8年度)

#### 新規事業化

### ○ 神辺水呑線

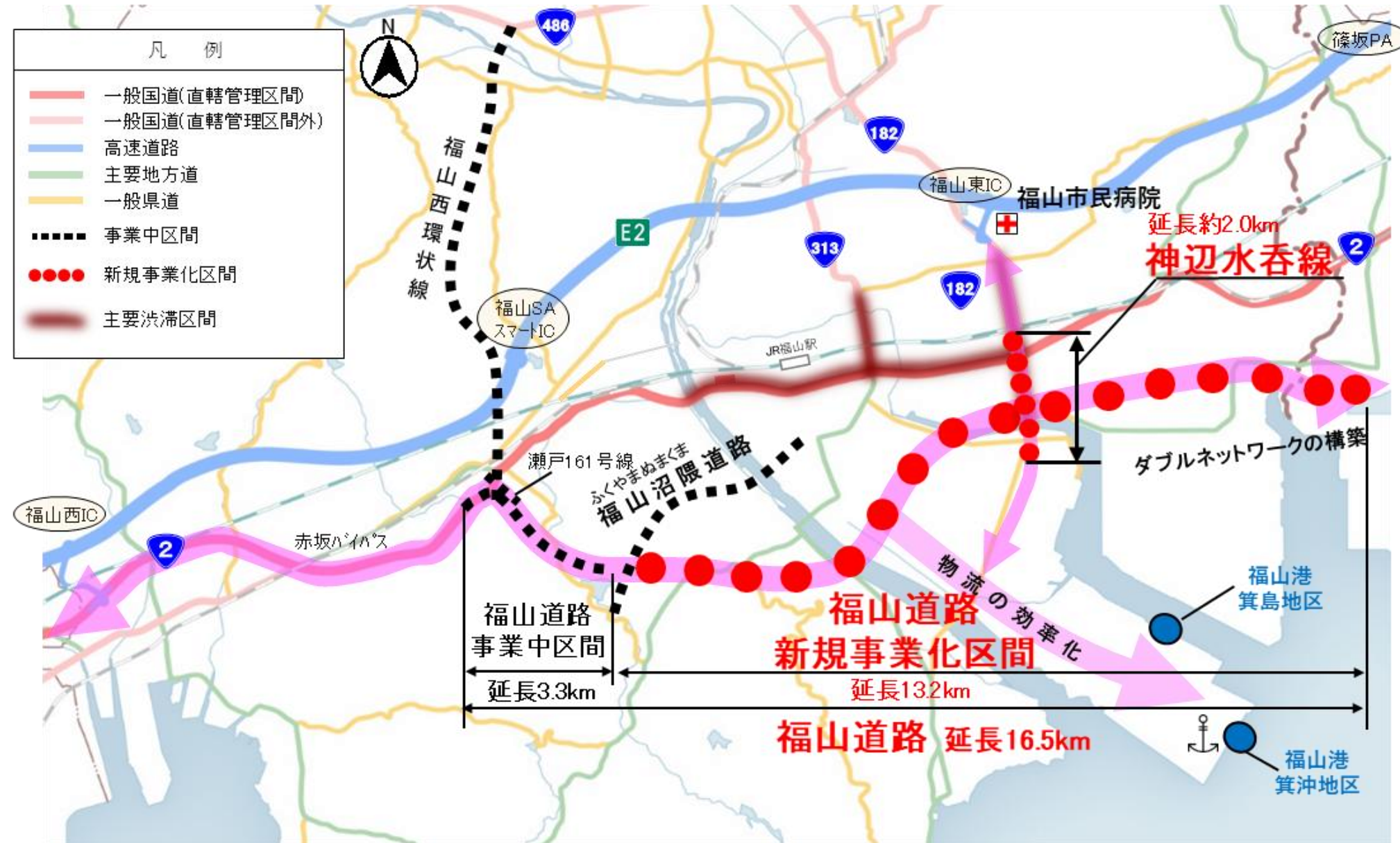
#### 県事業

延長：約2km

事業費：約260億円

→2026年度(令和8年度)

#### 新規事業化



# 福山道路全線と神辺水呑線の新規事業化について

## 整備効果

01

### 幹線道路の交通混雑緩和

【用之江交差点～赤坂IC間の所要時間】

約**23分**短縮

現況約**41分**→整備後約**18分**

02

### 幹線道路の交通安全の確保

【現道の死傷事故件数】 約**3割**削減

現況**378件/4年**→整備後**265件/4年**

03

### 物流効率化による地域産業の支援

【福山港～赤坂IC間の所要時間】 約**17分**短縮

現況約**38分**→整備後約**21分**

【福山港～笠岡西IC間の所要時間】 約**12分**短縮

現況約**35分**→整備後約**23分**

04

### 救急医療活動の支援

【笠岡地区消防組合消防本部～

福山市民病院間の所要時間】

約**11分**短縮

現況約**36分**→整備後約**25分**

05

### 信頼性の高い道路ネットワークの確保

【笠岡西IC～赤坂IC間の所要時間】

約**158分**短縮

山陽道通行止め規制時(実績)約**172分**

→整備後約**14分**

#### ■出典

国土交通省(中国地方整備局) HP

令和7年度第2回社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会資料

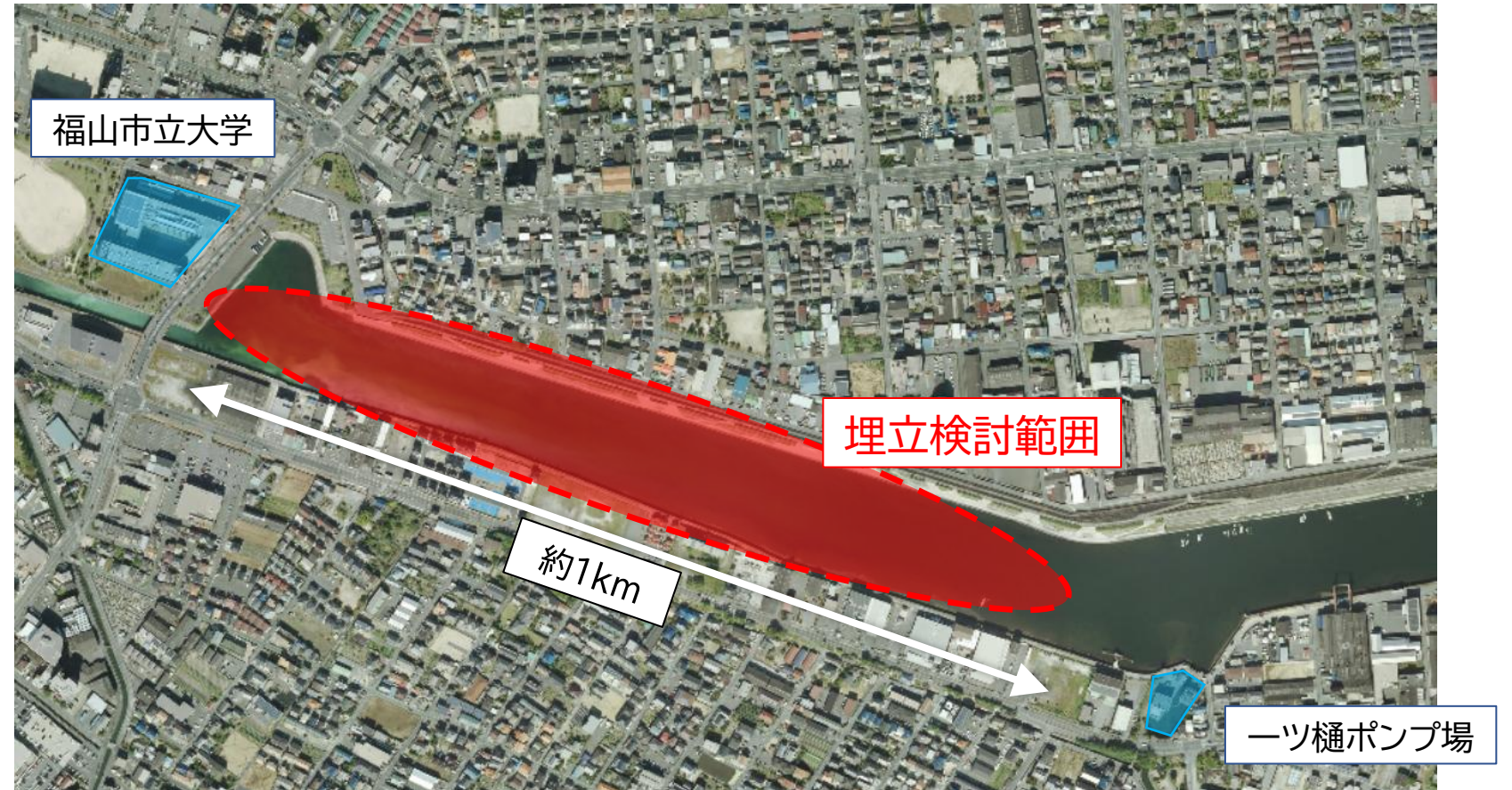
<https://www.cgr.mlit.go.jp/douro/bunkakai/r07/about/index2.html>

資料-2 新規事業候補箇所説明資料 一般国道2号 福山道路(笠岡西～長和)

(P.11)より抜粋

# 福山港内港地区の埋立について

- 2024年10月～翌年3月  
国(中国地方整備局)の港湾整備に伴う浚渫土砂の受入先候補として、国による現地の土質調査を実施
- 2025年4～7月  
国による構造形式等の検討
- 2025年8月～  
国において、コストダウンの方策を継続検討
- 2026年4月  
国から、事業の採算性の観点から、**現状では事業化は困難**との説明  
市から、事業環境は変わるので、**今後も国の事業を行う際の土砂処分先の候補の一つとしての検討を依頼**



# ～希望の子育て5か年プラン～

## 保育サービスの利用と負担の適正化検討

### 専門家会議

#### ○保育料等の現状と今後の方向性

	これまで	今後の方向性
保育料	2015年度から 上限額 月額80,000円 →中核市62市のうち3番目に高い水準(2025年4月時点)	引き続き、質の高いサービスを維持していくために、適正な受益者負担の在り方を整理。  この中で、加速する少子化の抑制に向けて、特に子育て家庭の経済的負担を引き下げる。
延長保育料	1998年度から 日額300円 月額3,200円	
放課後児童クラブ 利用料	1998年度から 月額3,000円 →公設公営クラブのある中核市21市のうち最も低い水準(2025年9月時点)	

※他都市との比較などの詳細は今後整理予定。

## ○会議の概要

子育て家庭の経済的負担に配慮しつつ、持続可能で質の高い保育サービスを維持していくため、中核市の中で比較的高い水準にある第1子保育料の引下げに向けた検討を進めるとともに、延長保育料と放課後児童クラブ利用料については適正な受益者負担の在り方を整理する。

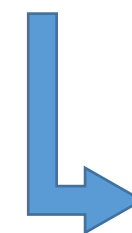
これらの検討に当たっては、外部の有識者による会議体を設置することで専門的な見地から意見をいただき、見直し案に反映していく。

## ○構成委員(予定) ※50音順

## ○スケジュール(予定)

2026年  
4月下旬 第1回会議開催  
5月中 第2回会議開催

※8月頃までに、5回程度開催



9月を目途に  
見直し案を取りまとめる

委員	所属	主な経歴	主な専門分野
池本 美香 (いけもと みか)	(株)日本総合研究所 上席主任研究員	・福山市「総合計画等策定に係る有識者会議」委員 ・厚生労働省「社会保障審議会 児童部会 放課後児童対策に関する専門委員会」委員	こども・女性政策 (保育、教育、労働、社会保障等)
吉田 正幸 (よしだ まさゆき)	(株)保育システム研究所 代表取締役	・福山市「少子化対策専門家会議」委員 ・厚生労働省「社会保障審議会児童部会」委員	保育制度・政策
渡邊 真帆 (わたなべ まほ)	福山市立大学 講師	・「福山市立大学附属こども園運営協議会」委員	幼児教育学

# (仮称) ふくやま未来大賞

## 表彰制度の創設に向けて実行委員会を設立

市制施行  
110周年  
記念事業

国内外において、革新的・先取的な取組でその分野をリードする福山市民又は福山市にゆかりのある者を発掘・表彰

## 福山から未来社会に変革を起こす

### 表彰イメージ(詳細は審査委員会で議論)

#### ○対象者

福山市民又は福山市にゆかりのある40歳代までの個人で  
世界・日本・地域の未来を変える将来性ある活動を行う者  
※ゆかり・・・在住・通学(過去含む)、活動拠点がある など

#### ○表彰テーマ

表彰テーマは絞らない  
※科学、宇宙、環境、芸術、経済、地域など様々な分野で  
未来をリードする活動

#### ○選考の視点

- ・ 先進的な発想や手法を用いているか
- ・ その分野の未来を変える可能性があるか  
など

## スケジュール(予定)

**4月27日(月) 実行委員会 設立**

5月～ **審査委員会** 設置

経済や地方創生などの分野を  
代表する有識者により構成する  
予定

7月～ 8月 制度公表・各団体への推薦依頼

9月～12月 受賞者選考

～ 3月 **表彰式**

## 実行委員会の構成(予定)

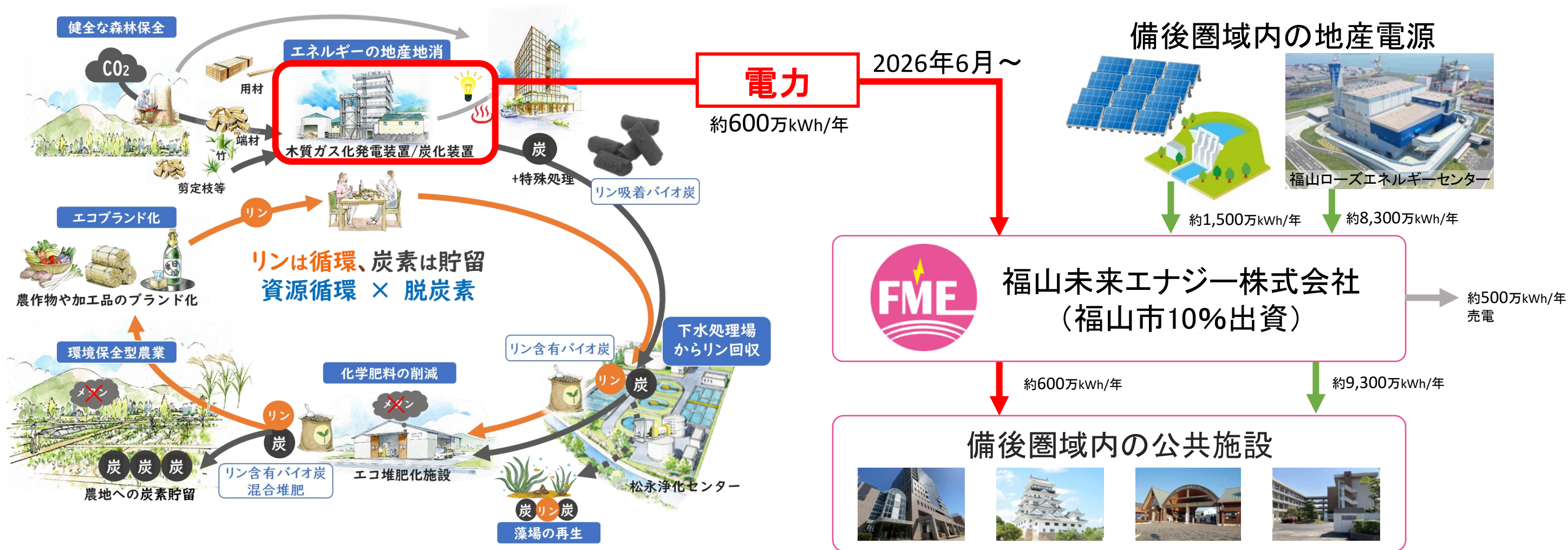
市内産学金官で構成

分野	構成団体
産	福山商工会議所 福山市商工会連絡協議会 福山市農業協同組合 福山観光コンベンション協会 など
学	福山大学 福山平成大学 など
金	広島銀行 中国銀行 もみじ銀行 など
官	福山市
その他	福山市医師会 報道機関



# エネルギーの地産地消に関する取組

神石高原バイオマス発電所からの電力を、福山未来エナジーが調達し、公共施設に供給  
 ➡ 地産地消の推進(熱・炭+電力)、地域経済の活性化(安価で環境にやさしい電力の供給)



「資源循環・地域資源・脱炭素」モデル構築事業

再生可能エネルギー地産地消の取組

# 4月定例市長記者会見

# 鞆地区の事業について

